

2018年4月20日  
JFE 鋼板株式会社

## 短尺汎用折板による縦継ぎカバー改修工法「ジョイント角はぜ<sup>※</sup>」の開発

※商標申請中

JFE 鋼板株式会社（代表取締役：小川満）は、このたび、既設の折板屋根をカバー改修するに当たって、短尺の汎用角はぜⅡ型折板の使用を可能にするための縦継ぎ工法（商品名「ジョイント角はぜ」）を開発いたしました。

折板屋根の改修に当たっては、既設の折板を取り除いて新しい屋根材を葺く場合と、既設の折板の上に新たに屋根材を葺く場合（カバー工法による改修）がありますが、建物を使用しながら工事を進めることができるカバー工法による改修が多く使われてきました。

また、折板屋根の敷設においては、通常、長尺折板を現地に搬入して葺く方法や、建設現場で折板を成形しながら葺く方法が採用されますが、改修工事では、対象建築物の周囲の状況により、長尺屋根や成形機を搬入できない場合があります。

このような改修工事を可能にするためには、現地に搬入できる短尺折板の採用が有効ですが、折板のつなぎ目の漏水対策が課題でした。JFE 鋼板株式会社は、このようなニーズにお応えするために、2016年に改修用の屋根としてタイトロック 500 を対象とした工法を開発しましたが、このたび、全国で汎用的に用いられている角はぜⅡ型折板を適用した「ジョイント角はぜ」を新たに開発いたしました。

「ジョイント角はぜ」は、以下に示すような特長があります。

- ① 縦方向の継手部に設けた”高耐久”2段ガスケットにより、超高層ビルの外壁にも使われているオープンジョイントを形成し、高い水密性を発揮します。
- ② 複数の固定金具を用意しており、敷地や搬入条件に適した折板長さを選択できます。
- ③ 折板先端部の軒先金具により、高耐風圧にも対応できます。
- ④ 既設の折板と改修用の折板の間のスペースに断熱材を敷き込むことで快適な室内空間を実現します。

JFE 鋼板株式会社は 2018 年度下期からの販売を目標に、製造販売体制の準備を進めています。

【問合せ先】 建材技術センター 開発室 03 (3493) 1660

◆ 「ジョイント角はぜ」 外観



◆適用範囲

対象物件	工 法	折板屋根短尺縦継ぎ工法 ジョイント角はぜ (汎用角ハゼⅡ型用)
	既 屋 根 勾 設 配	3/100～10/100
	既 屋 根 長 設 置	50 m以下
地域	積 雪 深 度	30 cm以下

◆折板継手部

